

# 活動記録



「弥生祭」御幸町の皆さんと



G7閣僚会議・小倉担当大臣打合せ



経世会(茂木派)パーティー



G7閣僚会議・歓迎レセプション



女性ライダー安全祈願祭



栃木県建設業協会「顧問」挨拶



さくら市氏家小学校国会見学



うつのみや商会との意見交換会

# 地域の声で、新たな日本へ。



# 五十嵐清国会通信

令和5年夏号

■国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館 915号室  
■地元事務所 〒322-0024 栃木県鹿沼市晃望台25

■ホームページ <https://kiyoshi-igarashi.com/>  
■発行所 自由民主党栃木県第2選挙区支部



日光二荒山神社「弥生祭」

## ごあいさつ

日ごろから、私の政治活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

先の通常国会では、114兆円の令和5年度当初予算をはじめ、重要法案を含む97本の議案を成立させることが出来ました。

また、栃木県で初の国際会議「G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」は、「日光声明」を採択し成功をおさめました。県が今後「日光声明」を実現するリーダーとなるよう、国政の立場から政策の実現に尽力してまいります。今後は、秋に予定される臨時国会に向け、「賃上げと価格転嫁」、「食料・農業・農村基本法」の見直し、国土強靱化「実施中期計画」などの政策分野について党内でしっかりと議論を進めたいと考えます。

今号は、初当選以来の議員活動の中で、地元市町長や同志の地方議員とともに取り組んできた代表的な事業等をご紹介します。

衆議院議員 五十嵐 清



G7閣僚会議・歓迎レセプション

## 1 鹿沼市

### 【特別交付税】

地方財源の確保は、各市町でそれぞれ懸命に取り組んでいるところです。一方で国はコロナ対策費として膨大な金額を支出している面もあり、**特別交付税を町の要望通り配分することは非常に難しい**ところですが、鹿沼市ではアフターコロナを見据えて具体的に取り組みたいことがありましたので、今回特別交付税の増額確保について一緒に取り組んでまいりました。

昨年度、大きな被災が無かった鹿沼市からの要望額確保は大変難しい状況でしたが、**総務省から満額以上の6億4,461万円の特別交付税を得ることができました**。これにより**地方バス路線の確保や子育て支援対策、地域経済活性化対策に対し手厚く充当**することが出来ました。

今年度は上記事業の継続とともに、新たな事業として、こどもが安心して成長できるまちづくり、スポーツ施設整備(ヤオハンいちごパーク陸上競技場)、ごみ処理施設整備、学校施設整備などへの特別交付税の活用を進めていきます。



## 2 日光市

### 【脱炭素先行地域に選定】

脱炭素社会の実現にむけ、2030(令和12)年までの目標達成へ、国内外を問わず取組が進められています。環境省は、**集中的に脱炭素への取組を進めるため、全国の100カ所に「脱炭素先行地域」を選定**し、再生可能エネルギーを中心に地域での経済を循環する仕組みをつくり、雇用を創出し、成功モデルを全国に横展開したいと考えています。

日光市としても脱炭素先行地域に選考されるべく、**脱炭素と観光都市の理想的融合を目指す計画づくりを進めたところ、その特色が期待され多数の申請の中から選定**されました。宿泊施設に温泉熱を活用した熱利用機器を導入し、利用後の排湯(35℃前後)を駐

車場の融雪機器への二次利用や、宿泊施設から回収した廃食油由来の燃料を域内運行の公共バスで活用するなどの取組も選定の要因となりました。

今後とも**環境省と連携し、地域課題の解決と住民の暮らしの質の向上に向けた脱炭素社会実現**に向け、より一層取り組んでまいります。



## 3 塩谷町

### 【佐貫頭首工改修事業】

佐貫頭首工は、鬼怒川中部地区の塩谷町、高根沢町、さくら市、宇都宮市を含む3市4町約8,800haの水田農業地帯の基幹的水利施設です。

この頭首工は、国営鬼怒川中部農業水利事業と県営風見発電事業の共同事業でありましたが、昭和39年造成の為、**必要な耐震性を有しておらず、大規模地震により損壊した場合には、農業用水のほか、発電用水の供給に支障をきたし、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがあります**。

そこで**国と県、関係市町、土地改良区で協議会をつくり、改修工事の円滑な推進を図ること**といたしました。今年度から来年度にかけて国による地区調査が開始され、その後令和7年度の全体実施設計をへて、令和8年度の事業着工を目指します。令和12年度完了予定で事業費総額20億円の見込みです。

今後は、**幹線支線の導水路網や、下流地域での老朽箇所**の整備も考えなければなりません。引き続き地元塩谷町、栃木県と連携しながら事業を強力に推進してまいります。



## 4 さくら市

### 【氏家駅東地区の魅力向上】

さくら市が掲げる「魅力ある小都市」の基本構想の中で、**氏家駅東地区の発展と、市民・来訪者にとって暮らしを楽しむ魅力ある街なかの形成を目指した住民参加型まちづくりを進める**としていきます。

駅前広場を現在より広くし、広場からの氏家喜連川線と氏家停車場線の2路線を、地区の骨格として交通の流れを円滑にする都市計画道路とすることで、**少子高齢化でも持続できる市街地環境や、都市全体のにぎわいを促進する「まちの顔」を形成**することが目的とされています。

この構想をもとに、来年にかけて住民へのアンケートや説明会などを実施し計画素案を作成し、再来年の基本計画策定と整備手法の決定を、さくら市は目指しています。それに向け五十嵐清事務所としても、**国土交通省の沿道整備街路事業など、活用可能性のある国の各種事業の情報収集に努め、さくら市を強力に支援**できるよう関係省庁と連携してまいります。



## 5 高根沢町

### 【スマート農業推進事業】

スマート農業とは、ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する新たな農業手法のことです。農業の現場では、依然として**人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多く、省力化、人手の確保、負担の軽減が重要な課題**となっています。

農林水産省ではスマート農業技術を実際に生産現場に導入し、技術実証を行うとともに、技術の導入による経営への効果の検証を進めています。

国の取組に呼応し高根沢町においても、すでに**水管理システム(水位センサーおよび給水ゲート)、後付け直進自動操舵システム、環境モニタリングシステム**

が継続して実証実験されており、中には有効性が確認されたものもあります。

今後とも**農水省と連携し、国が推奨する有用性の高い技術やシステムを、優先的に高根沢町の農業生産現場に積極的に導入**していきたいと考えております。



無人トラクタと有人トラクタの協調作業

## 6 宇都宮市(旧河内・上河内町)

### 【大規模盛土造成地の滑落防止対策】

令和3年、静岡県熱海市で大雨に伴って盛土が崩落し、大規模な土石流災害が発生したことや、危険な盛土等に関する法律による規制が必ずしも十分でないエリアが存在していることを踏まえ、**本年5月26日から「盛土規制法」が施行**されました。



これを受け、宇都宮市でも国が推進する宅地防災対策の一環として、大規模盛土造成地の変動予測調査を進める中、昨年実施した第2次スクリーニング調査の結果、市内3カ所で対策工事を実施する必要が生じました。

国土交通省の事業による**補助率は拡充されたものの、事業費の上限があり市の規模の場合、大きな財政負担**が生じます。市長および地元市議より、補助対象上限額の引き上げの内容で財政負担軽減に関する要望を受けました。**国交省への陳情により補助率の上乗せが実現し、今年度から3か年で、立伏町、鶴田町、横山町にて滑落防止対策を行うこと**となりました。